

## 機械材料・材料加工部門ご登録の方々へ

### －部門長からのメッセージ－

この度の東北関東大震災によって、多くの尊い命が奪われました。お亡くなりになられた多くの方々に深い哀悼の意を捧げます。また、被災された方々に衷心よりお見舞い申し上げます。さらに、地震と津波の被害地域、福島原子力発電所など被災地において復興のために昼夜を問わずご尽力されておられる方々に、敬意を表し感謝申し上げます。

機械材料と材料加工の専門家約 4,700 名の集う本部門は、今後長期に渡ると考えられる日本産業の復興に貢献する責務を負っています。多くのものが破壊されました。この状況を、より省エネルギーでより先進的なものづくり技術開発によって克服・発展させることこそが我々に課せられた使命であると認識しています。部門ご登録の方々におかれましては、是非心一つにし、技術を通じて産業復興に邁進していただきたくよろしく御願い申し上げる次第です。

一方、学会員個々の母体組織・家庭を維持する努力が要求されている点及び電力供給逼迫・交通手段制限の観点から学会活動がある程度限定されることもありましょう。3月24日開催予定であった本部門創立20周年記念講演会・祝賀会も中止となりました。また本学会をはじめ、春の講演会を中止とした学会は枚挙に暇がありません。

以上を鑑み、本部門においては暫定的に5月末まで及び夏期（7、8月）は集会を伴う活動を極力抑えることとし、国際会議 ICM&P2011 at Oregon State Univ.開催予定の6月及び9月以降に部門内10委員会の総力を挙げて社会に貢献すべく活動を進めて参りたいと考えます。ご理解を賜れば幸いです。皆で知恵を出し合ってこの国難に正面から立ち向かいましょう。どうかよろしく御願い申し上げます。

#### 【学生員の皆さんへ】

被災された学生の方々に、心からのお見舞いを申し上げます。東北地方の大学の現状をお教えいただく度に深く胸が痛みます。直接の被害のない地域でも東日本では卒業式が中止になったり毎日停電があったりして不安を抱いている方が多いと思います。

日本産業の復興は短期間に済むものではありません。ですから、復興の上に発展を重ねるためには皆さんの若い力が必須です。被災していない方も決して傍観者にならないでいただきたい。この大震災から謙虚に多くのことを学び取り、人間としてまた技術者としての将来の糧とすることが、お亡くなりになられた多くの方々、被災された方々、災害現場で尽力されている方々に報いる道でありましょう。

皆さんのご発展を切に望みます。

2011年3月26日

第89期部門長 大竹 尚登（東京工業大学）

日本機械学会 機械材料・材料加工部門ご登録の皆様